

今年の正月、女性四人と三泊四日のスキー旅行にでかけた。こういうと、私が何やら絢爛豪華、両手両足に花の四日間を、満面に喜びの色をたたえて過ごしたかのように思う人もいるかもしれない。実は、娘二人と妻と母だと聞けば、なーんだやっぱ、そんなことだと思っただ胸をなでおろす人ばかりであろう。

スキーに行くのは今度で二回目である。去年、勤め先である武蔵大学のスキー合宿の付き添いとして蔵王に行ったのが最初である。毎年、一〇〇人ほどの学生が参加する合宿である。教員は体育の先生を筆頭にインストラクターとして参加する。私は単なる「付き添い」であった。要するに、日頃偉そうな顔をしている教員の中にも、あんなみっともないのがいるぞということを知り、情けない役割を期待されていたわけである。

転倒すること数十回、学生と正面衝突一回と、立派に与えられた役割を果たし、胸をなでおろしていたら、今度は背後から敵は襲ってきた。「お父さんだけ行くのはずるい」というのである。いやそうではない。これはお仕事なのだ。苦しい、つらいお仕事なのだと言っても聞き入れられず、先の決断となったわけである。

越後湯沢のスキー場は一つの点を除け



初級者と初心者



中村 圭介

ば快適であった。何が良いといって、斜面が驚くほど緩やかなのが最高である。スキーをハの字にしながらも滑れる、つまりつまそくに滑れるのである。難点はただ一つ。初心者の格好のたまり場（？）になり、リフトの前には長い長い列が常にでき、割り込んでくる奴、列から意に反して滑っていく奴、転ぶ奴……と大変なのである。リフトに乗るのに一五分間、滑るのは三〇秒間。いくら初心者の私としても、これではつまらない。

「超」緩やかな斜面で誤った自信をつけた（？）私は、隣のゲレンデ、山の上のゲレンデ（もちろん初級者用）に出かけた。別世界である。スイスイとリフトに乗れるのである（言うまでもないが、そのこととスイスイと滑れるとは別のことである）。この差は何だ！ 情報公開が遅れているのか？ 規制の壁がここにもおよんでいるのか？ 悩み抜いたあげく、一つの結論に達した。要するに、世の中には私を含め、初心者が多いのに、初心者にふさわしいスキー場があまりにも少ないのである。初級者用ゲレンデはちゃんとあると人はいうかもしれない。だが、声を大にして言いたい。初級者と初心者とは全くといっていいほど違うのである。一つの例。スキー靴をはいてどう歩くかを教えてくれる人はなかなかいないが、初心者にと

ってはあれで歩く、しかも坂を上るのは至難の技である。

もしかすると、運輸省あたりの行政指導があり、初心者用のゲレンデを多くつくると、スキーを楽しむ人間が増えて、他のレジャー産業が衰退するという危険があるため、一県に一、二くらいしか初心者用のゲレンデをつくらないのかもしれない。だが、スキー・リゾート関係者にも、マーケット・リサーチの努力が欠けているのではないか。スキーを楽しむのは、何も若者だけではない。子ども、お年寄り、中年の初心者などさまざまあり、ムダに金を使うという点からすると彼らの方が上客であろう。製造業では消費者の多様なニーズに合った商品をと

言われて久しい。だが、レジャー産業にはそうした革新の波が及んでいないのかもしれない。そういえば、スキー場の食べ物値段をみれば、価格破壊などはこの国のことと思ってしまう。

プロフィール

なかむら・けいすけ
一九五三年、福岡生まれ。
七六年、東京大学経済学部卒業。八五年、東京大学大学院経済学研究課博士過程単位取得修了。
現在、武蔵大学経済学部助教授。専攻は労使関係論、労務管理論。



乱歩・横溝・久作
虫太郎の世界

探偵小説のさし絵展

三月二八日まで

弥生美術館

〒一三三 文京区弥生二丁目四番三号
TEL 〇三三三八二二一〇〇二二

竹久夢二美術館 「夢二の四季展」

〒113 文京区弥生2丁目4番3号
TEL 03-5689-0462

入場料 一般700円
大・高生600円
中・小生400円

両美術館とも併せてご覧になれます

AM 10:00~PM 5:00 月休

▼昨秋段階と春闘の二回のオルグでは、福島、宮城、大分、東京で一一の職場にお邪魔した。初冬から厳冬にかけての季節で各地の趣は異なる。一日の生活の流れは、日の出から始まり日の入りで終るのが昔の慣わし。当然のことだが東と西では夜明けに時間差がある。一日二四時にしてみればわずかな時間、しかし「むかし人間」には体になじまない。昨夏、省エネの立場からサマータイムの導入について労働省等一部で検討された。これも検討の視点ではある。▼兵庫県南部地震。被災者の手厚い救援と一日も早い復興を願う心で一杯だ。取材で現地につけたが、筆者の服装をめぐっての後日談、トレッキングシューズに、通勤用の黒皮ハーフコート、パツ

クスキン風帽子で背中にデイバック。編集部メンバーからそれぞれ御意見があったが、要約すれば似合わない、年を考えろということ、まさに正論と思うしかない。▼その服装。オルグ先の宿舎での朝のひと刻、外の街路は通勤者が行き交う。男性はともかく女性の身だしなみが目に映える。人それぞれの個性にプラス流行、おしゃれな人が多い。各地とも似かよった傾向だ。大規模百貨店の全国展開、専門店のチェーン化、それにマスコミの影響、購買者の心理が形成される。筆者の場合は通信販売、カタログはカラフルで購買意欲をそそる。マルチメディアのホームショッピングの影響力をふと考えさせられる時間であった。(M・O)

☒「死者五千人と報道できても一人ひとりの辛さを伝えるのは難しい」(田丸美寿々)。「被災地以外の人に救援を訴えるにはテレビが一番」(木村太郎)。「惨状ばかり伝えなくなるが、被災者に安心情報を流すのも役目」(渡辺宜嗣)。局ごとに長田区、東灘区など分担して生活情報を流すことも必要」(福岡功男)。四人のTVキャスターの自問と反省の弁(2月3日朝日新聞夕刊)。組合機関誌は何が伝えられるか。一過性でない編集を心がけたい。(13)

が大変なことになっている。新幹線、JR在来線ともに不通で岡山方面、大阪方面への交通も途絶、バスで鳥取へ向かい空路東京へ。今回の地震では自然災害の恐ろしさ、それに伴う二次災害の悲惨さをまざまざと思い知らされた。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。(志)

誰もが情報を扱うとき方向を変えてしまう可能性を持っている。非常時はいわずもがな。「伝える」立場の一端にある人間として強く心に留めたい。(咲)

戸はじめて訪れた神戸は震災により見るも無惨な姿になっていました。焼失・倒壊した家やビル、配給の列に並ぶ被災者の方々、回収されないゴミの山などを前にカメラのシャッターを押すことしかできない自分の無力さを感じ申しわけない気持ちで一杯です。避難所になっている兵庫高校では被災者の方を写真に撮りたいとも思いましたがあまりの痛々しさに最後までシャッターは押せませんでした。もっと役に立つ形で行きたいものです。(梅)

巧人往来

(第13回)

フリーダー

ひと目みて『ドンピシヤツ』



世の中ペットブーム

高級熱帯魚から果てはニシキヘビまで、今や世をあげてのペット・ブームである。中でも相変わらず根強い人気を得ているのは何と云っても「犬」。今回はその犬のブームのいわば陰の立役者、最近何かと話題をよんでいる『フリーダー』を訪ねる旅にでた。

兵庫県といっても、岡山県との県境にほど近い山あいの静かな家並に、めざす片山さんの住まいがあった。車からおりた私を最初に迎えたのは、かたわらの犬舎の中にいる二匹のシベリアン・ハスキーの好奇心に満ちたまなざしである。その特色になっているアーモンド型の目は、ふいに訪れた不審な中年男をいぶかしげに見つめていた。

兵庫・姫路分会 片山 武憲さん

- ▼「あけぼの」をよる
- 振込先口座番号は末尾です。
- 「あけぼの」は全電通二三十万人を総結集する機関誌です。あなたの参加(二意見)ご提言)をお待ちしています。
- 一九九五年 二月号
- あけぼの
- 第二巻 第五号 通巻一三四号
- ▼発行者 全国電気通信労働組合
- 代表者 梶本幸治
- ▼編集者 小田切峯夫
- ▼発行 千101 東京都千代田区神田駿河台三一六
- ▼印刷 全国電気通信労働組合中央本部 関東電通印刷株式会社
- ▼頒価 年額三六〇〇円(組合員の購読料は組合費の中に含む)
- 送料は組織内の申し込みはすべて支部経由とし当該支部に一括送ること無料。
- 「組織外一冊四〇〇円、年額五五〇〇円(送料含む)」
- ▼送金方法 組織内年額三六〇〇円、組織外年額五五〇〇円(送料共)前納のうえ。文書でご連絡ください。
- ▼振込先 第一勧業銀行神田支店普通預金 一五六五一五七 全国電気通信労働組合中央本部情宣部 代表 小田切峯夫